



ホームページへのQRコード



「延永こども見守り隊」に表彰!

昨年、中津熊の区長さんが「校長先生、嬉しいお知らせです!」…って町内会役員会の資料を学校に持って来てくれました。

その資料には、「長年にわたり社会に奉仕する活動に従事し、顕著な実績を挙げた方に授与」される「善行章」という全国表彰を「延永こども見守り隊」の方が受賞されたとありました。

受賞されたのは、さんく歳。さんは、「見守り隊」が正式に活動始める以前…13年前から、ボランティアとして延永小の通学路に立ち、子供たちの安全を見守る活動をしてくださっています。

延永小の子供たちは、こうした地域の方々からの支援をいただきながら、毎日学校生活を送ることができています。本当にありがたいことです。「見守り隊」の方をはじめ地域の方に会ったら、お礼の気持ちを込めて「元気なあいさつ」をお願いします。



「あいさつを伝える」

「あいさつの声がひびく延永小学校にしよう!」2学期の始業式でそうみなさんに提案をしたのをお覚えていますか?

あれから3ヶ月が過ぎ、延永小学校の多くの児童が登下校時の通学路や学校の中で明るく声をかけてくれます。

しかし、寒さが厳しくなってきた、その声や表情も少し縮こまってきた感があります。「ポケットに手を入れたまま」や「背を丸めて下を向いたまま」では、自分から声をかけたり、相手を見てあいさつをしたりすることは難しいです。また、今はマスクも着けているので「言ったつもり」でも、ボソボソとした言い方では、キチンと相手に伝わらず、「あいさつをしたのに無視された…」と誤解されてしまう場合があるかもしれません。

寒さが厳しい今の季節だからこそ、「温かいあいさつ」…「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」「ごめんね」〈魔法の言葉〉を大切にしましょう。

2学期はじめの提案

延小を…

あいさつの声がひびく学校にしよう!

ま あいさつは、その「しかた」がポイント!

- その1 はっきりと言葉を伝えること
- その2 相手を見てあいさつすること
- おまけ 自分からあいさつすること

〈行橋市人権作文「小学校」優秀賞〉

一緒に遊ぼう

延永小学校 四年

「ねー。次の土曜日にみんなで自転車でピクニックに行こう。」

教室の中で折り紙をして遊んでいた私の所に何人かの友達が集まってきた。私は遊びに誘われたことがすくうれしくて、すぐにその友達とピクニックの話を始めた。

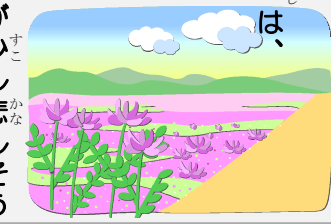
「持って行く物はなににする?」「お昼はお弁当持って行って食べよう。」「レジャーシートに、遊ぶ道具もいるやん。」「

など、みんなで楽しくピクニックの話をしていた。その時、もう一人の友達が私たちの話の中に入ってきた。「ねー。何の話をしているの?。ピクニックに行くの?。」

私は、「うん、みんなで〇〇公園に行くことにしたんだ。お弁当やお菓子、ゲームも持って行くよ。」「ただうれいばかりで、そう答えた。すると、その友達は、「私も行く。仲間に入れて。」「

と、ニコニコしながら話に入ってきた。私は、「いいよ。いいよ。」「何とも考えずに答えた。すると、私をさそってくれた友達が、「ごめんね。無理。」「

とその友達をこわってしまった。うれしそうに仲間に入って来た友達の顔が少し悲しそうに見えた。でも私は何も言うことができず、その友達にさって行くのを見ていただけだった。



その日、家に帰ってからお母さんにその話をした。土曜日に友達とピクニックに行く約束をしたこと。そして、一人の友達だけは行けなかったこと。

私はうれいとお母さんに話したのに、お母さんは、「その仲間に入れてもらえなかった友達は、どんな気持ちだったんだろうね。」と、私にいつ問してきた。

「え?。」私は、その時の友達のことをもう一度お母さんと一緒に考えてみることにした。もし私が仲間に入れてもらえなかったらどんな気持ちになっていたんだろう。きっと、すごく悲しい気持ちになっていただろう。なのに私は、うれいばかりで友達の気持ちをちゃんと考えていなかった。それに、友達が言われた時、「一緒に遊ぼう。」とみんなに言えればよかった。お母さんとたくさん話をした。そして、明日、その友達も一緒にピクニックに行くように、話してみようと思う。みんなが何て言うかわからないけど、みんなでもっと楽しくピクニックに私は行きたい。だから、私は勇気をもって話をすることに決めた。

今回のことで改めて自分のこと、そして友達のことを考えた。「人権」って言われると、正直むずかしくて、まだあんまり分からないけど、まずは身近でみんなが楽しくすごせるように、友達の気持ちを考えられるようになりたいと思う。そして友達が何かあった時、だれかじゃなくて、自分から声をかけられるようになりたい。

